

**平成29年度
第2回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：平成30年2月7日（水） 14：00～15：25
場 所：西郷地区公民館

〔西郷地区〕 3名

一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく 北村代表理事
いなば西郷むらづくり協議会 前田会長
西郷地区公民館 窪田館長

〔本庁関係〕 1名

企画推進部地域振興局 久野局長

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：森原会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)
上田会長(佐治)、池長会長(気高)、田中会長(鹿野)、高橋会長(青谷)
総合支所：安本国府支所長、平戸福部支所長、野際河原支所長、田中用瀬支所長
西尾佐治支所長、武田気高支所長、徳岡鹿野支所長、山本青谷支所長

〔事務局〕 2名

地域振興局地域振興課 国森課長補佐、平井主事

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 「いなば西郷工芸の郷」の取組について
- 4 意見交換
- 5 閉 会

(終了後、花輪窯とシェアハウスの見学を実施)

議 事 概 要

1 開 会 (14:00)

2 久野局長あいさつ (14:01)

3 「いなば西郷工芸の郷」の取組について (14:05~14:45)

○前田会長あいさつ

○北村代表理事より資料に基づき説明

4 意見交換 (14:45~15:25)

(福部 南部会長) 今後取組を発展させていくにあたり、運転資金が必要だと考えるが、自前で稼ぐことについてどのような考えをお持ちか。

(北村代表理事) ギャラリーを作り作家の作品を販売したり、カフェの経営等を考えているが、作品の原価や人件費を確保すれば手元に残るお金は少なく、簡単に稼ぐことは難しいと考えている。

(青谷 高橋会長) 一般社団法人という形態はどのような経緯で決めたのか。

(北村代表理事) むらづくり協議会でお金を動かしていくことは難しい。一つの物事を決めるのに住民の合意を得る必要があり、コンセンサスを取りにくい。法人の設立にあたり、一般社団、NPO、株式会社を検討したが、一番負担が少なそうな一般社団を選択した。

(気高 池永会長) 現在理事は3人とのことだが、今後高齢化が進むにあたり、人材の確保はどのように考えているか。

(北村代表理事) 一般社団法人については社員を増やしていく予定だが、むらづくり協議会については高齢化が進んでおり、人材の確保は課題である。

(河原 竹田会長) 工芸の郷づくりに関して、今までボランティアで協力してきたが、年をとっていくと難しい、との意見も聞く。一般的に、まちづくり協議会は市の支援がないと継続が難しい。市には、資金面や知恵出しについて支援をいただきたいと考える。また陶芸品は道の駅でも販売しているが、売れ行きは芳しくない。市としても売上増加につながるよう宣伝してほしい。

(鹿野 田中会長) 工芸の郷づくりの取組は素晴らしいことだと思うが、若年層にも興味を持ってもらえるよう知恵を出していくことが必要だと考える。また鹿野のNPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会でも「まちづくり宿舎」という取組を行っており、県内外からも参加があるが、地元の人にはあまり関心がないようである。地元を巻き込んでいく工夫が必要である。

(久野局長) 工芸の郷づくりに関して、市としてどのように支援していくのが良いのか、県も交えて様々な議論を行ってきた。外部に対してきちんと説明できるような支援の仕方にする必要もある。販売や宣伝については行政が苦手とする分野ではあるが、大阪・麒麟のまちでのPRやネットでの販売は可能だと考える。販路に関しては作家同士の連携も有効な手段だと思う。また、まちづくり協議会については、発足から約10年経ち地域によっては行き詰まっているところもあると聞いている。まちづくり協議会の今後のあり方については市としても課題だと捉えている。

(窪田館長) むらづくり協議会立ち上げの役員選出の際、いわゆる充て職ではなく、地域で元気に活動しているメンバーを選んだ。このことが今の西郷地区の発展につながっていると考えている。むらづくり協議会の活動は「地域のため」ではなく、「自分たちのやりたいこと」を事業として行っている。活動の元となる「むらづくり計画」についても、地域住民でワークショップをしながら考えたものである。敬老会、福祉事業、伝説集作成、西郷まるごと博物館「ぎゃらりー あっちこっち」など様々な事業を行っているが、後継者の育成も課題である。

(用瀬 西川会長) 一般社団法人の立ち上げに合わせ、「第2次むらづくり計画」を策定したのか。

(窪田館長) 一般社団法人の立ち上げに合わせたものではなく、平成21年の発足から今までやってきたことの整理や新しい要望が出てきたため、新たに策定したものである。

(用瀬 西川会長) 用瀬地域にある3つの保育園が来年統合され新しい保育園ができる。旧保育園施設の利活用について検討していく必要があり、この「むらづくり計画」を参考にさせていただきたい。

(河原 竹田会長) 湯谷温泉の施設について、西郷地区で指定管理を受けてはどうか。
(久野局長) 市としても、地元で管理していただけるのは望ましいことだと考える。

5 閉 会 (15:25)

(終了後、花輪窯とシェアハウスの見学を実施)